

みんなで作る かがやきとやすらぎのまち 南相馬
～復興から発展へ～

南相馬市 復興総合計画 後期基本計画

2019 ⇒ 2022



100年のまちづくり
家族や友人とともに暮らし続けるために



みんなで作る かがやきとやすらぎのまち 南相馬
～復興から発展へ～

南相馬市復興総合計画

後期基本計画

2019 ⇒ 2022



100年のまちづくり
家族や友人とともに暮らし続けるために

100年のまちづくり

家族や友人とともに暮らし続けるために

南相馬市長 門馬 和夫



2011年3月11日に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から、8年の歳月が過ぎました。2016年7月12日には、帰還困難区域を除く避難指示が解除され、徐々に市民が避難先から帰還しました。

まちの風景は、だいぶ変わりました。津波被害があった沿岸部のガレキの山は搬出され、防潮堤・防災林・大規模太陽光発電所及び風力発電所が建設されました。田畑の耕作も始まりました。

一方、居住人口の急減した旧避難指示区域の再生や、福島イノベーション・コースト構想に基づき福島県が本市へ整備している福島ロボットテストフィールドの活用など、重点的かつ緊急に取り組む事案が出てきました。

そのため、2015年に策定した南相馬市復興総合計画前期基本計画を検証するとともに、1年前倒しをして、市長任期と連動した4年間の計画とする南相馬市復興総合計画後期基本計画をこのたび策定いたしました。

後期基本計画では、政策目標「100年のまちづくり～家族や友人とともに暮らし続けるために～」を掲げました。未曾有の大災害を経験し、それを乗り越え、もう一度自信を取り戻すこと、子どもたちが故郷に誇りを持ち、この地で何代も営みが続くまちを創ることが目標です。そのために、本市の礎を築いた先人に感謝し、今を生きる私たちだけではなく、10年、100年先を見据えた取組を進めてまいります。

最後に、計画策定にあたって貴重なご意見をいただきました総合計画審議会委員をはじめ、地域協議会委員の皆さん、さらには、まちづくり市民懇談会や高校生ワークショップなどを通して、ご意見をいただきました多くの市民の方々に対し、心から感謝申し上げます。

目次

第1編 後期基本計画の策定にあたって	1
第1章 計画の策定趣旨	2
第2章 計画の構成と期間	4
第3章 時代の潮流(主な課題と対応の方向性)	6
第4章 将来の人口	10
第2編 後期基本計画	15
第1章 政策目標と政策の柱	16
第2章 復興重点戦略	22
第3章 重点戦略	24
第4章 基本構想と後期基本計画の全体像	26
政策の柱1 教育・子育て	27
政策の柱2 健康・医療・福祉	37
政策の柱3 産業・仕事づくり	47
政策の柱4 都市基盤・環境・防災	57
政策の柱5 地域活動・行財政	69
資料編	75

※年(度)表記について:2019年以降、新しい元号に変更されるため、
本計画では、すべて「西暦」で表示しています。